

## 一般乗合旅客自動車運送事業（路線バス）における 上限運賃改定の申請について

岐阜乗合自動車株式会社(本社:岐阜市九重町 社長:瀧 修一)では、本日2023年6月26日(月)、中部運輸局に一般乗合旅客自動車運送事業(路線バス)の上限運賃変更に関する認可申請をいたしました。

申請の理由および申請概要等については下記のとおりです。ご利用のお客さまにはご負担をおかけすることになりますが、何卒事情をご賢察の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1 申請理由

弊社は1995年12月1日実施の前回運賃改定以来、消費税率の引き上げに伴う運賃改定を除き、27年間に亘って運賃を変更することなく事業を継続し、維持してまいりました。

この間、「輸送の安全の確保」を最優先しながら、ICカード乗車券やバスロケーションシステム、ノンステップバスなどの導入、Ma a Sアプリによる乗車券の造成等、利用者サービスの充実と地域交通網の維持・確保に努めてまいりました。

しかしながら、前回改定から四半世紀が経過する間に路線バス事業を取り巻く環境は大きく変容してきており、少子高齢化の進展や人口減少社会の到来、昨今ではコロナ禍による新生活様式の定着などによる移動需要の減衰が著しく、輸送人員が大幅に減少したため、収入面で極めて厳しい状況に置かれております。

さらには、深刻化する乗務員不足に対応するための職場環境および待遇改善に要する原資の確保、安全性や環境に配慮した車両・設備の継続的な導入・更新、燃料費を始めとした物価全般の高騰、直近では全国交通系ICカード導入のための投資などにより、経費も増加傾向にあり、収入の減少と合わせて事業経営を圧迫しております。

このような環境下においても、公共交通事業者として安全安心かつ快適な輸送サービスを継続的に提供するためには、運賃改定による収支改善が必要と判断し、申請したものです。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

#### 2 申請の概要

- |               |                             |
|---------------|-----------------------------|
| (1) 申請日       | 2023年6月26日                  |
| (2) 運賃改定実施予定日 | 2023年10月1日(予定)              |
| (3) 申請内容      | 一般路線バス全線の上限運賃改定(岐阜市内均一運賃含む) |
| (4) 上限運賃平均改定率 | 23.62%                      |
- ※なお、実施運賃に関しては上限運賃より低廉な金額とし、平均7%程度の改定を予定しております

(5) 現行・申請運賃比較表

	現行運賃	申請（上限）運賃※1	実施運賃（予定）※2
初乗り運賃	160円	200円	180円
同 定期券（通勤1ヶ月）	7,080円	8,860円	7,970円
岐阜市内均一運賃	220円	250円	230円
同 定期券（通勤1ヶ月）	9,740円	11,070円	10,180円

- ※1 上限運賃とは、一般乗合旅客自動車運送事業（路線バス）の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受しても良いとされる運賃の上限額です。
- ※2 実施運賃とは、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様から収受する運賃額です。

▽主な区間の運賃（予定）※3

区間	普通運賃		通勤定期券 （1ヶ月）※4		通学定期券 （1ヶ月）※4	
	現行	実施	現行	実施	現行	実施
J R 岐阜～山県バスターミナル	520	560	23,030	24,800	18,290	19,700
J R 岐阜～せき東山	800	850	35,420	37,640	24,530	26,240
J R 岐阜～岐阜大学	330	360	14,610	15,940	11,640	12,700
J R 岐阜～北方バスターミナル	420	470	18,600	20,810	14,820	16,580
J R 岐阜～大野バスセンター	530	600	23,470	26,570	18,590	20,900
J R 岐阜～岐阜聖徳学園大学	450	480	19,930	21,250	15,880	16,930

- ※3 本表記載の実施運賃額は6月26日の申請時点での予定となっております。変更となる場合がありますのでご了承ください。正式な運賃につきましては、上限運賃の認可後、ホームページ等にてお知らせいたします。
- ※4 ご利用区間ごとの通勤定期券、通学定期券の運賃額は、改定後の実施運賃を基準として算出いたします。

3 輸送人員および収支状況

	輸送人員	収支状況
2021年度（実績年度）	12,057千人	△651百万円
2024年度（平年度推計）	改定前	△724百万円
	改定後※5	△14百万円

- ※5 2024年度（平年度推計）の収支状況は、事業の経営に必要な原価を計上した推計値です。  
2024年度（平年度推計）改定後の輸送人員、収支状況は申請（上限）運賃での推計値です。

4 これまでの経営合理化および今後の取り組み

弊社ではこれまで、不採算路線の再編を始めとした乗合バス事業の路線網の整理や、需要に則した運行計画の策定、営業所の統廃合、車両の更新期間の延長、エコ安全ドライブの推進等による経営改善に努めてまいりました。

さらに、弊社グループ内の経営資源の集約し、事業運営の効率化を図るために子会社を吸収合併するとともに、採算性の低い貸切事業を縮小し路線バス運転士の確保に努めるなど、持続的に輸送サービスを提供できるよう取り組んでまいりました。

また、コロナ禍では輸送需要の減衰に合わせて運行計画の変更などを行い、一層の経費削減にも努めております。

今後も上述のような経費削減策を継続しつつ、アフターコロナにおける新生活様式に対応したダイヤの効率化、連節バスやD X（デジタルトランスフォーメーション）技術による輸送効率や業務効率の向上に努めてまいります。

## 5 安全対策への取り組み

弊社では、「安全・安心・快適な輸送サービス」を提供することで、お客様に信頼され地域活性化の一助となれるよう全社員が一丸となって取り組んでいます。

社員教育においては、「安全第一やさしいバス運動」を展開し、2022年度は「やさしく丁寧な接客」「交通ルールの遵守」を柱に、輸送の安全の確保とCSの向上に努めました。また、「エコ・安全ドライブ」の取り組みを通して、「ふんわりアクセル・ふんわりブレーキ」「車間は十分ゆとりをもって」を心掛けた運転による事故防止と燃費の向上、発車時の「指差確認称呼」の徹底による車内転倒事故の防止にも取り組んでまいりました。

安全への投資においては、これまでに全車両へのデジタルタコグラフ・ドライブレコーダーの搭載をはじめ、貸切・高速車両への衝突被害軽減ブレーキの標準装備や、教習専用車両（愛称：若鮎c o a c h）の導入による運転技術の向上などに取り組んでまいりました。

今後も、ドライバー異常時対応システム搭載車への代替促進など、安全機器への投資を積極的に進め、絶えず輸送の安全性の向上に努めてまいります。

## 6 サービス向上の取り組み

弊社ではサービス施策として、2006年12月より東海3県の交通事業者としては初めてとなるICカード乗車券「ayuca」を導入しているほか、2024年春には全国交通系ICカード（10カード）に対応する予定をしております。

定期券では、お得な通学定期券「1年定期券」や「学期定期」、土日祝日の通勤定期利用者の同伴家族が大人100円・小児50円で利用できる「エコ家族割」などを導入しております。

Ma a Sアプリを活用した企画乗車券施策も推進しており、土日祝日に弊社一般路線全線と受託運行する一部コミュニティバスが乗り放題となる「ホリデーパス」や岐阜市内均一運賃エリアで利用できる「220エリアパス」、昼間帯の利用促進策として「昼得きっぷ」を設定するなど、サービス拡充を図っております。

運行面では、バスロケーションシステムでのリアルタイム運行情報の提供や外部事業者と連携した経路検索エンジンへの情報提供、ホームページやSNSを活用した情報発信にも努めております。

また、沿線にお住まいの方に一層バスを身近に感じていただく施策として、地域イベントへの出展や自社によるイベント主催、自治体と協働した「バスの乗り方教室」などのモビリティマネジメントにも積極的に取り組んでおり、今後もハード・ソフトの両面からサービス向上に取り組んでまいります。

7 問合せ 岐阜乗合自動車株式会社 営業管理部 TEL：058-240-8814  
(平日9:00~18:00)

以上



岐阜乗合自動車株式会社  
総務部広報担当  
電話(058)240-8800  
FAX (058)240-8808